

## 県内収入保険契約者第1号

ファーム・おだは、東広島市河内町小田地区の13集落の集まりで、平成17年に発足し、農家151戸で構成しています。

104<sup>㊦</sup>の農地を管理し、栽培面積86<sup>㊦</sup>のうち約53<sup>㊦</sup>に水稻を作付け、他に大豆、小麦、野菜を栽培しています。また、米粉パンを製造・販売する「パン&米<sup>とまいむ</sup>夢」を運営し、一昨年からはヒノヒカリを使用した「日本が峰」というお酒の販売を始め、42人を雇用しています。

昨年の西日本豪雨では、私たちのほ場でも65カ所で土砂崩れなどの被害や水路が断たれるといった二次災害が発生しました。収入保険の導入がもう1年早ければ良かったと思います。

収入保険の魅力は、作物の種類を問わず、幅広いリスクによる収入の減少を補償するという点だと思います。収入全体を補償してもらえるので、新しい作物などにも挑戦しやすく、若い人たちも経営に関わり、チャレンジできると思います。

農業には作物の価格変動など波があり、そうした中で雇用を維持し、安定経営していかなければなりません。収入保険に加入することで、先を見据えた経営をし、地域の農地・農業を守っていきたいと考えています。

(広報紙「NOSAI広島」2019年 第19号より)



東広島市河内町  
農事組合法人ファーム・おだ  
組合長理事 森原 敏昭さん (70歳)